

ハイブリッド式グラブ浚渫機

HP



環境にやさしくパワフルで効率的な作業を実現するクレーン

港湾土木工事では、港に出入りする船のために海底の土砂をグラブバケットで掘り、船の通り道（航路）を確保する浚渫（しゅんせつ）作業や、津波が陸地まで押し寄せることを防ぐ防波堤や消波ブロックの据付工事など、安全・安心な暮らしを守るための仕事が多くあります。

弊社では創業以来、港湾土木工事で活躍する全旋回式浚渫兼起重機（クレーン）を建造してきましたが、温暖化などの環境問題を踏まえ、新たに燃費向上を目指した「ハイブリッドグラブ式浚渫機」を開発しました。主に浚渫作業時のグラブバケット巻下時に発生するエネルギーを、巻上時にアシスト利用することで、燃料消費量の低減=排ガス発生量の削減を実現した環境配慮型製品です。



納入実績

SKKクレーンは累計5000台以上、日本全国の海洋土木業者などへ納入しており、アジア諸国への輸出実績もあります。

その他情報

型式/SKK-30030GDT-EH
仕様/ハイブリッドグラブ式浚渫機
最大吊り上げ荷重/150ton

ジブ長さ/28m
標準グラブ容量/P.L22m3（自重66ton）
浚渫可能深度 水面下鉛最大60m

株式会社 SKK

☎ 088-841-2233 🏠 088-842-4023

📍 〒781-0242 高知県高知市横浜西町1-3

🌐 <https://www.skk-crane.co.jp/>

✉ sales@skk-crane.co.jp